

保谷小教育目標
すすんで学ぶ子
助け合う子
元気な子

保小だより



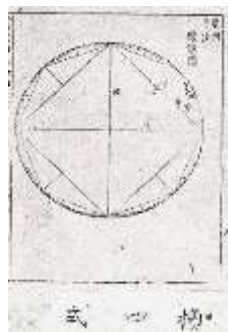
NO. 419・11月号 西東京市立保谷小学校

平成28年10月28日

保谷小ホームページ <http://www.nishitokyo.ed.jp/e-houya/>

「分かる」「できる」から「学びが楽しい」へ

副校長 博多 正勝



上の肖像画は、「関 孝和」(せき たかかず)という、江戸時代の数学家です。その当時の数学を「和算」といい、日本で発展した学問ですが、右上の図形から分かるように、正確な円周率を割り出す等、その実力は「ニュートン」にも引けを取らなかったようです。

彼の弟子らが、その後日本地図の作成や、天文学、航海術の発展に寄与しました。日本が19世紀末に他国の植民地になることなく、近代化を行えた理由は、その当時の日本の国民の学力の高さがあったという説があります。

関 孝和さんの時代から約300年、今や日本は、世界の中でトップクラスの教育力をもつようになりました。

平成24年(2012年)にOECD(経済協力開発機構)が実施した「国際学習到達度評価(PISA)」【世界65か国の15歳、51万人を対象とした調査】での、日本の順位を紹介します。

PISA2012の上位10ヶ国

	数学的リテラシー	読解力	科学的リテラシー
1位	上海	上海	上海
2位	シンガポール	香港	韓国
3位	香港	シンガポール	シンガポール
4位	台湾	日本	日本
5位	韓国	韓国	フィンランド
6位	マカオ	フィンランド	エストニア
7位	日本	アイルランド	韓国
8位	リトアニア	台湾	ベトナム
9位	スイス	カナダ	ポーランド
10位	オランダ	ポーランド	カナダ

色塗りはアジアの国・地域

調査は2000年から3年ごとに実施しており、「リテラシー」とは「応用力」の意味です。「読解力」「科学的応用力」は世界4位。「数学的応用力」は世界7位です。

課題として、「学習意欲の低さ」が挙げられます。質問紙調査での「数学を学ぶことに興味がある」と答えた日本の生徒は38%で、OECD加盟国平均の53%を大きく下回り、下位から4番目の低さです。また、「数学を学ぶことは、将来の仕事の可能性が広がるので学びがいがある」と回答した日本の生徒は52%で、下位から2番目の低さになります。

OECDのシュライヒャー教育局次長は、日本の結果を受けて「数学の知識が将来に生かせるよう、教員が生徒に学ぶ目的を教えることが大切である。」と述べています。教員である私たち一人一人の責任の重さを、改めて痛感しました。

このたより発行の3日後の10月31日(月)、研究を進めている算数科の「研究報告会」を本校で行います。先日ご家庭に配布しました「中間報告書」での本校、高野校長の挨拶文には、「楽しい授業とは『分かること・出来るようになった自分の変化に気付くこと』と考えます。」とあります。子供たち一人一人に「理解する力」「成し遂げる力」を身に付けさせていくとともに、「算数って楽しいね。」と算数自身の面白さ・不思議さを実感できるような授業を目指して、本校の教職員は日々、取り組んでいます。今回の研究報告はまだ道半ばです。31日当日、多くの方にご覧いただき、忌憚のないご意見・ご感想をお待ちしております。

校内研究の取組

今年度、本校では西東京市立学校教育研究奨励事業研究指定校1年目として、算数科における校内研究を進めています。その中で、私たち教職員は子供たちが問題や課題に対してどのように考え、取り組み、それを図や式、言葉などを用いながら相手にどのように伝えるかということに重きをおいて、指導をしています。たとえ、たどり着く答えは同じでも、アプローチの仕方は様々で、その一人一人の考えの過程を大切にしたいと考えています。まず、問題に対する自分の考えをも

つこと。そして、1つの解き方、考え方ができたらそこで終わりではなく、他の方法や考え方でもできるだろうか考える。さらに、もっと簡単な方法はないだろうか、もっと分かりやすい方法はないだろうかと考えていくことができる子供たちに育てたいというのが本校のテーマです。



10月31日(月)に、研究指定校1年目の中間発表としての公開授業および研究発表会を実施し、主に各学年における思考力と表現力に重点をおいた取り組みを行います。子供たちの「できた!」「分かった!」そして、それを相手に「伝えたい!」という姿を目指して、今後も研究を進めてまいります。来月以降も各学年において研究授業や学校公開等で子供たちの頑張る姿をぜひご覧いただきたいと思います。

食育について

本校の教育目標である“元気な子”を達成するために、体力・生活プロジェクトの食育担当として、食育リーダーの原田先生とともに、給食を通して食育をすすめているところです。毎日の学校生活で栄養士が食育を進めるための基になるものといえば、毎日の献立作成です。献立は生きた教材として、伝えたいことは無限大と言えるほどたくさんあります。その中からワンポイントで毎日伝えているのが、盛り付け写真と一緒に書いている『ちょっとメモ』です。このちょっとメモは、給食委員会の子供たちが毎日放送をしてくれています。子どもたちには少し難しい内容の時もありますが、耳からの情報も大切なことだと思っているので、あえて難しい言葉でもそのまま伝えるようにしています。

今年度も給食試食会が2回実施されました。先日の試食会でも食材へのこだわりについての話をしましたが、子供たちに食への興味や関心をもってもらえるためにも、生産者がはっきりしたものを多く取り入れ、伝えることをしたいと考えています。

食育というと、何か特別なことをやらなければならないと思ってしまう人もいるかもしれませんが、しかし、決してそうではなく、“食(食事)”という毎日必ず行っていることから学ぶことです。保谷小では、これからも、給食を通して集団としてのマナー学んだり、健康な体をつくるためには何をどれくらい食べたらいかなどがわかるように食育をすすめていきます。

是非、ご家庭でも、学校から発信する情報なども参考にさせていただき、一緒に食育をすすめていきたいと思っています。



えがおの取組みについて

ことばの教室「えがお」は、発音や話し方、ことばの育ち方などのご心配について保護者の方や在籍学級の先生と一緒に考えながら、解決のための手助けをさせていただく教室です。ことばの教室の指導は、正規の授業として位置付けていますので、在籍学級の授業時間にことばの教室での指導を受けても、在籍学級では早退や遅刻扱いにはなりません。

ことばの教室の指導は、週1回、保護者の方とともに通い、指導を受けます。一人一人のことばの様子に応じて、個別指導を行います。舌や唇など、発音に関わる器官の動きを高めて正しい発音を身に付ける練習、楽に話す練習などをします。

現在、保谷・保谷第一・谷戸・碧山・栄・谷戸第二・東・住吉・東伏見小学校から27名が通っています。今年度は、これまで6名の1年生が入級しました。

西東京市では、平成26年度から、1学期に全小学校で1年生を対象としたスクリーニング検査を行っています。保谷小学校「えがお」と芝久保小学校「かがやき」で市内9校ずつ担当します。発音の誤りや吃音のある児童には、再検査（言語相談）をお勧めし、短期間で改善が期待できる児童は、経過観察として、2学期、3学期に巡回指導を行っています。

発音の誤りは成長とともに改善していく場合もありますが、ご心配がありましたらご相談下さい。

情報教育について

現在の小学校の情報教育では以下の力をつけることが求められています。

- ・児童がコンピュータやネットワークなどの情報手段に慣れ親しむこと
- ・コンピュータで文字を入力するなど基本的な操作や情報モラルを身に付け活用すること

そのため、本校でも年間の計画をたてて、学年に応じた学習を行っています。たとえば、低学年では、コンピュータ室の使いかたとパソコンの電源の入れ方に始まり、お絵かきソフトを用いてカードを作成したり（1年）、写真を用いて冊子の表紙を作成したり（2年）します。また、中学年以降では、ローマ字の入力方法を学習した後、インターネットでの検索を学びます。これを応用して社会科や総合的な学習の時間を中心とした調べ学習に活用する学習を行っています。

これらの学習では、自宅にパソコンがある児童も多く、最初は操作に不慣れな子がいても、友達同士教え合ったりICTサポーターに質問したりして、どの学年でも上手に使いこなすことが出来るようになっていきます。

しかし、情報教育の重要なことは、パソコンの操作を身に付けるだけではありません。情報モラルや「情報」そのものの活用方法を身に付けていくことが重要です。そのために、普段の授業のなかで、より柔軟に電子機器を活用した授業を行うため、西東京市では市内各校へ電子黒板の配置や児童用コンピュータのタブレット化を推進しています。これにより2学期より保谷小学校のコンピュータ室には41台のタブレットパソコンが導入されました。従来のデスクトップパソコンと同じ活用方法に加え、動画比較のようにタブレットパソコンでしかできない学習を重ねて行くことで、「情報」の活用方法や情報モラルを身に付けていけるように指導していきたいと思えます。

講演のご案内

下記の内容で学校保健委員会講演会を実施致します。ぜひご参加下さい。

【日時】 平成28年11月21日（月）

14:35～15:35【場所】 保谷ルーム【本校舎3階（2年3組の隣）】

【内容】 「学力と健康との関係について」

講師 西東京市教育委員会統括指導主事 西川 幸延先生

詳細は、先日配布されましたお便りをご覧ください。

1 1 月 行事予定表			1 1 月の生活目標 話をしっかり聞きましょう		
日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
1	火	安全指導 地域安全マップ作成予備日(3)	16	水	
2	水	5時間授業 個人面談① ALT	17	木	4 時間授業(1～4、6)
3	木	文化の日	18	金	
4	金	5時間授業 個人面談② 芝生養生(終)	19	土	
5	土		20	日	
6	日		21	月	全校朝会 ICT 5時間授業 オリンピック訪問(1～6) 学校保健委員会
7	月	全校朝会 委員会活動	22	火	社会科見学(6)
8	火	保谷オリンピック② 5時間授業 個人面談③	23	水	勤労感謝の日
9	水	4 時間授業	24	木	
10	木	通常時程5時間授業 個人面談④ 社会科見学(3) 対話による美術鑑賞(4) 保谷オリンピック予備日	25	金	
11	金	対話による美術鑑賞(4)	26	土	
12	土		27	日	
13	日		28	月	全校朝会 生活目標発表(4-1)保小まつり クラブ活動⑨
14	月	全校朝会 クラブ活動⑨ ICT	29	火	脊柱側わん検診(5)9:00
15	火	5 時間授業 個人面談⑤ ALT 3年歳の里見学	30	水	避難訓練(集団下校)

※音楽会の振替休業日予定でした**28日(月)**は、**音楽会が終了しているため登校日となります。****26日(土)**は、**休日です。**

3年生 学年の取組



国語科「つたえよう、楽しい学校生活」

＊学習発表会（1年生との交流）＊



10月4日(金)に3年生は1年生に向かって、保谷小学校の生活をグループに分かれて発表しました。

この学習活動のめあては「楽しい学校生活を伝える発表会に向けて、話し合って準備をしよう」です。

学習発表会に向けて、グループでの話し合い活動をたくさん行いました。発表する内容や具体的に説明する内容、さらには、詳しく説明するためにインタビューした方がいい内容について、何度も話し合いました。

保谷オリンピックや保小まつり、学芸会や音楽会など、保谷小学校の行事や3年生から始まる理科や社会などの教科について、その楽しさをできるだけ分かり易く伝えられるように工夫して臨んだ本番は、どの子も一生懸命に頑張っていました。

3年生の発表を、興味深く聞きいる1年生の姿も大変立派でした。

また、3年生のお兄さん、お姉さんとしての姿も立派で、頼もしいなと感じた1日でした。そして、担任として、異学年交流の大切さを実感しました。